

令和4年度

学校評価書

令和5年3月

小浜市立口名田小学校

令和4年度小浜市立口名田小学校 学校評価報告

今年度、本校において策定した「スクールプラン」のもと、掲げた重点目標（めざす児童像）達成のために、具体的な取組内容を設定した。「学校評価」では、その具体的な取組内容について、「取組指標」（教職員対象）・「成果指標」（児童対象）・「満足度指標」（保護者・地域の方対象）を設け、総合的な評価を実施した。ここでは特に重点的に取り組んだ内容とその成果・課題について報告する。

1 学校教育目標 「つながり 学ぶ 元気な子」

- 2 めざす児童像
- | | |
|-----------------|------------------|
| (1) 進んで考え 学び合う子 | (2) 思いやり つながり合う子 |
| (3) 心身ともにたくましい子 | (4) ふるさとを愛する子 |

3 1年間の取組の成果・課題

(1) 進んで考え 学び合う子

今年度も、児童に身につけさせたい資質・能力として「問題発見・解決能力」に焦点を当て、小浜市独自の「3S学習」を基盤に据えた授業づくりに全校を挙げて取り組んできた。また、全学年において「生活科」・「総合的な学習の時間」を中心に、各教科・領域等の学習が横断的につながり、学びの成果を有効に生かすことができるよう「カリキュラム・マネジメント」の取組も続けてきた。授業づくりにおいては、「課題設定・課題解決・省察（ふり返し）」の3つの学習過程（学習サイクル）をスパイラルに展開し、発展的な学びが生み出せるよう努め、教員の指導力向上のために相互参観授業を実施し、教員同士が学び合う場を設けた。

その結果（学校評価：後期）、「進んで『一人調べ』や話し合いに取り組んでいる」と答えた児童が98%（目標80%・昨年97%）、「お子さん（子ども）は進んで家庭学習に取り組んでいる」と答えた保護者が89%（目標80%・昨年92%）と、いずれも学校が設定した目標値をクリアした。主体的に学びに向かう力が着実に育ってきていると言える。

昨年課題となった「基礎学力の定着」については、今年度は、チャレンジタイム（1日20分間・週4日設定）の工夫、タブレット端末の活用の日常化、日々の授業での基礎基本を学ぶ時間の確保・工夫について、毎学期教員間で共通理解を図りながら取り組んだ。また、引き続き本校では定期（年2回）実施する校内漢字・計算テスト（90点以上で合格）において、合格率80%以上を目標に据えている。その結果を見ると、漢字テストについては、91%（昨年82%）、計算テストについては、95%（昨年78%）と後期は目標値をクリアすることができた。昨年度の反省をもとに、本校児童の持ち味である「主体性」「学びに向かう力」を生かし、そこにタブレット端末を活用した学習を取り入れることで、児童の興味関心・集中力なども引き出し、成果を上げることができたと言える。来年度も学力の基盤となる「基礎学力の定着」について引き続き取り組み、「主体性」と「学びに向かう力」を有効に生せるよう組織的に取組を続けていくことが必要と考えている。

(2) 思いやり つながり合う子

「思いやり支え合う集団づくり」を目指し、「元気なあいさつや返事・温かい言葉遣い」・「互いを認め思いやる仲間づくり」・「障がい理解教育」「児童主体の特別活動の推進」に取り組んできた。

「あいさつ」については、児童主体の委員会活動として毎朝の登校時間帯に児童玄関前で「あいさつ運動」を行った。人権教育については、職員対象に障がい理解教育（理論研修）の実施、全学級対象に特別支援教育コーディネーターによる障がい理解教育のための授業の実践をし、児童の発達段階に即した理解を促した。また、拉致問題を考える学習として地村保志氏を招いた職員対象の研修と6年生を対象とした授業を行い、校内人権週間には、児童会主体の特別活動を設定し、委員会ごとに「仲間づくり」をねらいとした取組の企画・運営をした。また、校内人権集会（12/10）では、6年生が拉致問題について学んだことを発表し、縦割り班で話し合う時間を設定することで、全体での学びにつなげることができた。特別活動（学校行事・児童会活動）については、学校行事、委員会活動、縦割り班活動、全校集会において児童の企画・運営の場を保障し、学校生活に対する前向きな姿勢と自己有用感の育成に努めた。

学校評価（後期）の結果を見ると、「進んであいさつができる」と答えた児童が99%（目標90%・昨年95%）、「係や委員会の仕事をしたり友達を助けたりできる」と答えた児童が99%（目標80%・昨年99%）と、取組の成果が見られた。ま

た、「みんなと仲良く学校生活を送っている」と答えた児童は100%（目標100%）と目標を達成することができた。今後も、個別的教育相談の実施や学校全体での共通理解を図る場の設定など、心のケアが必要な児童には全教職員で寄り添っていきいたいと考えている。

その中で「地区児童は進んであいさつをしているか（見守り隊アンケート）」では、課題を残した。できている児童も多くいる反面、課題となる場面もあったことがアンケートの記述回答からうかがえた。「地域の中では、会った人に元気なあいさつをしてほしい」という見守り隊の方の願いが伝わり、家庭・地域・学校が一体となって子どもを育てる観点からもあいさつだけでなく、様々な場面でのつながりを密にしていきたいと考える。

「家庭でも自分の役割を果たす」という観点では、本年度も一定の成果を上げることができた。「いきいき週間に家の手伝いができた」と答えた児童は84%（目標80%・昨年85%）、「いきいき週間中、お子さん（子ども）は家の手伝いに取り組んでいた」と答えた保護者は87%（目標80%昨年86%）となった。今後も、家庭貢献意欲や自己有用感を高めていくことができるよう学校と保護者とで取組のねらいと価値について共通理解を図り、連携を強めていきたいと考える。

(3) 心身ともにたくましい子

「望ましい生活習慣の確立」を目指して、「睡眠調査（2週間）」及び「いきいき週間（1週間）」を各学期に1回ずつ設定し、「早寝・早起き・朝ご飯・メディアのルール」の4項目について1週間の結果を点数化する取組を実施している。また、「運動に親しむ態度の育成・体力向上」を目指して、「クロスカントリー（マラソン）大会」・「なわとび大会」等の体育行事を実施したり、業間運動（5分間持久走・5分間なわとび）の機会を設けたりした。いずれも児童が個人目標を設定した上で取り組み、事後のふり返りを行うため、自身の成長と課題が明確になり、向上心と意欲を持たせることができた。継続した取組とその成果が認められ、本年度は、文部科学大臣より「優れた『早寝早起き朝ごはん』運動にかかる文部科学大臣表彰」を受けた。

これらの取組の成果が、学校評価の結果につながり、「いきいき週間」における「早寝」「子どもに対して必要な睡眠時間確保のための働きかけをしている」という保護者、「業間運動や体育行事で目標に向かってがんばることができた」という児童、「子どもは何事にも最後まであきらめずに取り組もうとしている」と答えた保護者のいずれも好結果が得られた。

昨年度課題が見られた「メディアのルール」では、「子どもに対して、望ましいメディア利用のためのルールをつくり、働きかけをしている」という保護者は90%（目標90%・昨年87%）と改善が見られた。長年取り組んでいる成果と、「ノーメディア」の考え方ではなく「メディアのルール（つき合い方）」の必要性を啓発することで数値が上がったと考える。児童においては、「メディア」の項目のみが合格点達成者86%（目標90%・昨年87%）と目標値に達しないという結果となった。新型コロナウイルスの流行時期に「いきいき週間」を設定したことも原因の一つに挙げられるが、学校での取組や指導内容をもとに保護者に啓発を行ったり、保護者対象の研修の機会を設けたりするなどして学校と家庭とが連携することにより、児童自身が健康面・安全面に留意し、自律的にメディアと付き合っていくよう力を育てていくことが大切であると考えている。

(4) ふるさとを愛する子

自分の住む地域に誇りと愛着を持つ子どもも育てるため、「ふるさと学習の推進」に取り組んだ。積極的に地域に足を運び、地域の「人・もの・こと」に触れる機会を得て、地域理解を深めることにつながる学習活動を展開してきた。豊かな自然（南川・大黒山等）や農業（口名田米・谷田部ネギ等）・地域の人・文化に触れる体験活動を通して、児童は豊かな学びを体験し、地域の魅力を県内外へ発信することができた。

学校評価（後期）においては、教職員・児童・保護者ともに目標値を上回り、取組・実践の確かな成果を感じることができた。「ふるさと学習を通して口名田のことが好きになった」という児童が99%（目標90%・昨年度99%）、「ふるさとのよさや自慢できることを見つけて伝えることができる」という児童が97%（目標80%昨年度97%）であった。その成果は、「道の駅、若狭フィッシャーマンズ・ワーフ、修学旅行先でのPR活動」「ふるさと福井の魅力プレゼンテーション大会」「福井ふるさと教育フェスタ」（県教育委員会事業）「校内学習発表会」（ふるさと学習発表会）等において、堂々とPRする児童の姿に表れていた。今後も、ふるさと教育の取組の継続と工夫、「小さな地域貢献活動」の一環として地域の魅力発信活動の取り組み、児童の地域の一員としての自覚をさらに高めたいと考えている。

4 次年度に向けての課題

【改善】健康と安全に留意して望ましいメディアとの付き合い方（「メディアのルール」の確立）ができる児童の育成

【改善】あいさつの意義を理解していつでもどこでも進んであいさつができる児童の育成

【継続】主体性と学びに向かう力を発揮し、タブレット端末も活用して、基礎学力の定着や資質・能力の育成に努める児童の育成

項目	重点目標	具体的取組	評価規準・目標指数	対象	質問内容	アンケート結果			
						前期		後期	
I 進んで考え学び合う子	(1) 主体的・対話的・資質・能力を育成する。児童の学びの自覚化	「目指す資質・能力を明確にした児童主体の授業を実施し、授業の内容が分かって見える」と言える児童80%以上を指す。	【評価規準】 教員は、カリキュラム・マネジメントをもとに、汎用的な資質・能力の育成を図っている 【目標指数】 ①+②の合計が100%	教職員	● 問+H3:H132題発見・解決能力を育成する授業を実践していますか。	前期		後期	
			① いつも実践している		80%	100%	70%	100%	
			② だいたい実践している		20%		30%		
			③ あまり実践していない		0%		0%		
		④ 実践していない	0%		0%				
		【評価規準】 教員は、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業づくりに取り組んでいる 【目標指数】 ①+②の合計が80%	教職員	● 児童主体の授業を実践していますか。	前期		後期		
		① いつも実践している		90%	100%	20%	100%		
		② だいたい実践している		10%		80%			
		③ あまり実践していない		0%		0%			
		④ 実践していない	0%		0%				
		【評価規準】 児童は、進んで「ひとり調べ」や話し合いに取り組んでいる 【目標指数】 ①+②の合計が80%	児童	● すずんで「ひとり調べ」や話し合いに取り組んでいますか。	前期		後期		
		① いつも取り組めた		56%	100%	63%	98%		
② だいたい取り組めた	44%			35%					
③ あまり取り組めなかった	0%			3%					
④ 取り組めなかった	0%		0%						
【評価規準】 児童は、すずんで家庭学習に取り組んでいる 【目標指数】 ①+②の合計が80%	保護者	● お子さんは、すずんで家庭学習に取り組んでいますか。	前期		後期				
① いつも取り組んでいる		46%	98%	41%	89%				
② だいたい取り組んでいる		52%		48%					
③ あまり取り組んでいない		2%		9%					
④ 取り組んでいない	0%		3%						
(2) 基礎的な知識・技能の確実な習得を図る	定期的な漢字・計算テストで90点以上とれる児童80%以上を指す。	定期的な漢字・計算テストで90点以上とっている	【評価規準】 基礎的な漢字計算力のつく指導をしている 【目標指数】 ①+②の合計が80%	教職員	● 基礎的な漢字・計算力を身につけさせる指導をしていますか。	前期		後期	
			① いつもしている		71%	100%	100%	100%	
			② だいたいしている		29%		0%		
			③ あまりしていない		0%		0%		
		④ していない	0%		0%				
		【評価規準】 休み明け漢字テストで90点以上とっている	児童	● 休み明け漢字テストで…	前期		後期		
		① 満点だった		22%	76%	44%	91%		
		② 90点以上だった		54%		47%			
		③ 90点に満たなかった		24%		9%			
		【評価規準】 休み明け計算テストで90点以上とっている	児童	● 休み明け計算テストで…	前期		後期		
		① 満点だった		33%	84%	33%	95%		
		② 90点以上だった		51%		62%			
③ 90点に満たなかった	16%			5%					
【評価規準】 漢字・計算力がついてきている	保護者	● お子さんは、漢字・計算力がついてきていると思いますか。	前期		後期				
① 十分ついてきている		40%	97%	34%	96%				
② ついてきている		57%		62%					
③ ついてきていない		3%		4%					
(3) 朝読書や家庭での週末読書を通じて、本に親しむ	読書の年間目標として、0歳以上3年生以上は4,000ページ以上、1・2年生以上は1,000ページ以上を指す。	低学年100冊以上、3年以上4,000ページ以上読ませる工夫をしている	【評価規準】 低学年100冊以上、3年以上4,000ページ以上読ませる工夫をしている 【目標指数】 ①+②の合計が90%	教職員	● 児童に1・2年生は100冊以上、3年生以上は4,000ページ以上読ませる工夫をしていますか。	前期		後期	
			① いつも工夫している		71%	100%	57%	100%	
			② だいたい工夫している		29%		43%		
			③ あまり工夫していない		0%		0%		
		④ 工夫していない	0%		0%				
		【評価規準】 低学年100冊以上、3年以上4,000ページ以上読むことができている	児童	● 前期(～7月)／後期(～12月)でどれだけ読書をしましたか。	前期		後期		
① 1・2年生は50/100冊、3年生以上は2,000/4,000ページ以上	69%	84%		79%	94%				
② 1・2年生は40/80冊、3年生以上は1,600/3,200ページ以上	15%			15%					
③ 1・2年生は40/80冊、3年生以上は1,600/3,200ページ未満 (目安は7月で目標の40%以上・12月で80%以上で達成とする)	16%			6%					
【評価規準】 児童は、週末読書をしている	保護者	● お子さんは、週末に読書をしていますか。	前期		後期				
① 毎週している		49%	92%	46%	94%				
② 時々している		43%		48%					
③ まったくしていない	8%		6%						

【口名田小学校】令和4年度「学校評価」結果 [前期(7月)・後期(12月)]

項目	重点目標	具体的取組	指標	評価規準・目標指数	対象	質問内容	アンケート結果			
							前期	後期	前期	後期
II 思いやりつながり合う子	(1) 積極的な児童を育てる	児童90%以上地域から進んであいさつができたと言えらる児童90%以上を目標とする。	取組	【評価規準】 進んであいさつをする指導を行い、ふり返る機会を設定した 【目標指数】 ①+②の合計が100%	教職員	● 進んであいさつをする指導を行い、ふり返る機会を設定しましたか。 ① 常に意識して指導している ② 日頃から意識して指導している ③ 指導することができなかった	73%	100%	58%	100%
			成果	【評価規準】 自分から先に「先生、地域の人、友だち」にあいさつができる 【目標指数】 ①+②の合計が90%	児童	● 自分から「先生・地域の人・友だち」にあいさつできましたか。 ① いつもできた ② だいたいできた ③ あまりできなかった ④ できなかった	68%	99%	70%	99%
			満足度	【評価規準】 児童が進んであいさつができると評価している。 【目標指数】 ①+②の合計が90%	保護者	● お子さんは進んであいさつをしていますか。 ① いつもしている ② だいたいしている ③ あまりしていない ④ していない	50%	93%	47%	90%
			満足度	【評価規準】 児童が進んであいさつができると評価している。 【目標指数】 ①+②の合計が90%	地域・関係者	● 地区児童は進んであいさつをしていますか。 ① いつもしている ② だいたいしている ③ あまりしていない ④ していない	36%	80%	35%	76%
	(2) 自己有用感を育て、互いに高め合える児童を育てる	1いじめがなく学校が楽しいと言えらる児童80%以上を目標とする。	取組	【評価規準】 児童の小さな変化に気づき、個別に話し合う時間を持っている 【目標指数】 ①+②の合計が100%	教職員	● 児童の小さな変化に気づき、個別に話し合う時間を持ちましたか。 ① 十分に持った ② 持った ③ あまり持たなかった ④ 持たなかった	58%	100%	50%	100%
			成果	【評価規準】 仲良く学校生活を送ることができている 【目標指数】 ①+②が100%	児童	● みんなと仲よく学校生活を送ることができましたか。 ① よくできた ② だいたいできた ③ あまりできなかった ④ できなかった	80%	99%	76%	100%
			満足度	【評価規準】 わが子がみんなと楽しく学校生活を送っている 【目標指数】 ①+②の合計が90%	保護者	● お子さんは、みんなと楽しく学校生活を送っていますか。 ① 楽しく送っている ② どちらかといえば、楽しく送っている ③ どちらかといえば、楽しく送っていない ④ 楽しく送っていない	74%	100%	80%	100%
			取組	【評価規準】 自己有用感を育てるために、ふりかえりや感想を共有する時間を持っている 【目標指数】 ①+②の合計が100%	教職員	● ふりかえりの充実を図り、考えや感想を共有する時間を持ちましたか。 ① 十分に持った ② だいたい持った ③ あまり持たなかった ④ 持たなかった	90%	100%	30%	100%
		自分の属する集団(家庭・学校)で役立っていると感じる児童80%以上を目標とする。	成果	【評価規準】 友達・学級・学校の役に立つことができている 【目標指数】 ①+②の合計が80%	児童	● 自分の仕事(当番・係・そうじ・委員会)をしたり、友達の助けたりできましたか。 ① よくできた ② だいたいできた ③ あまりできなかった ④ できなかった	72%	99%	78%	100%
			成果	【評価規準】 家族の役に立つことができている 【目標指数】 ①が80%	児童	● いきいき週間の「家の手伝い」の合格点(22点)をクリアすることができましたか。 ① 合格点をクリア(22点)することができた ② 合格点をクリア(22点)することができなかった	88%	88%	84%	84%
			満足度	【評価規準】 わが子は家族の役に立つことができている 【目標指数】 ①+②の合計が80%	保護者	● いきいき週間中、お子さんは家の手伝いに取り組んでいましたか。 ① しっかり取り組んでいた ② だいたい取り組んでいた ③ あまり取り組んでいなかった ④ 取り組んでいなかった	44%	93%	46%	87%

項目	重点目標	具体的取組	指標	評価規準・目標指数	対象	質問内容	アンケート結果			
							前期		後期	
Ⅲ 心身ともにたくましい子	(1) 生活の自己管理ができ、自立できる児童を育てる	取組	● 必要とする睡眠時間について、児童・保護者へ意識付けすることができましたか。	【評価規準】 必要とする睡眠時間について児童・保護者に意識付けを図っている 【目標指数】 ①+②の合計が100%	教職員	① 十分意識付けることができた	88%	100%	38%	100%
						② 概ね意識付けることができた	12%		63%	
						③ あまり意識付けることができなかった	0%		0%	
		④ 意識付けることができなかった	0%		0%					
		成果	● いきいき週間中の早寝の合格点(22点)をクリアすることができましたか。	【評価規準】 児童のいきいき週間中、早寝の点数が23点以上である 【目標指数】 ①が80%	児童	① 合格点をクリア(22点)することができた	83%	83%	94%	94%
						② 合格点をクリア(22点)することができなかった	17%		6%	
	満足度	● お子さんに対して、必要とする睡眠時間確保のための働きかけをしていますか。	【評価規準】 必要とする睡眠時間の習慣化に取り組んでいる 【目標指数】 ①+②の合計が90%	保護者	① 常に意識して働きかけている	94%	99%	85%	95%	
					② 「いきいき週間」や「睡眠・朝食調査」の時は働きかけている	5%		10%		
					③ あまり働きかけていない	1%		5%		
	④ まったく働きかけていない	0%		0%						
	児童メディアの90%以上の利用を目指し、ルールを決め守れている	取組	● 望ましいTVの利用について、児童・保護者へ意識付けすることができましたか。	【評価規準】 メディアの利用について児童・保護者に意識付けを図っている 【目標指数】 ①+②の合計が100%	教職員	① 十分意識付けることができた	88%	100%	38%	100%
② 概ね意識付けることができた						12%		63%		
③ あまり意識付けることができなかった						0%		0%		
④ 意識付けることができなかった		0%		0%						
成果		● いきいき週間中のメディアの項目について合格点(22点)をクリアすることができましたか。	【評価規準】 児童のいきいき週間中のメディア項目点数が23点以上である 【目標指数】 ①が90%	児童	① 合格点(22点)をクリアすることができた	87%	87%	86%	86%	
					② 合格点(22点)をクリアすることができなかった	13%		14%		
満足度	● お子さんに対して、望ましいメディア利用(スマホ・ゲーム等)のためのルールをつくり、働きかけをしていますか。	【評価規準】 子どものメディア利用について、親子で話し合ってルールをつくり取り組んでいる 【目標指数】 ①+②の合計が90%	保護者	① 常に意識して働きかけている	36%	88%	38%	90%		
				② だいたい働きかけている	52%		52%			
				③ あまり働きかけていない	10%		9%			
④ 働きかけていない	2%		1%							
(2) 基礎体力や気力の向上を図る	取組	● 体育的行事(体育活動)に向けて、具体的な目標や数値を考えさせ、振り返る機会を設定している	【評価規準】 体育的行事に向けて、具体的な目標や数値を考えさせ、振り返る機会を設定している 【目標指数】 ①+②の合計が100%	教職員	① 計画的に設定できた	57%	100%	86%	100%	
					② 概ね設定できた	43%		14%		
					③ あまり設定できなかった	0%		0%		
	④ 設定できなかった	0%		0%						
	成果	● 業間運動や体育活動で個人目標を設定し、目標に向かってがんばれましたか。	【評価規準】 業間運動や体育的行事(体育大会・クロスカントリー大会・なわとび大会等)に向けて目標を設定し、達成を目指して努力している 【目標指数】 ①+②の合計が90%	児童	① がんばることができた	77%	100%	74%	99%	
					② どちらかといえばがんばることができた	23%		25%		
③ あまりがんばることができなかった					0%		1%			
④ がんばることができなかった	0%		0%							
満足度	● おさんは、何事にも最後まであきらめずに取り組んでいますか。	【評価規準】 わが子は何事に対しても最後まであきらめず、前向きに取り組もうとしている 【目標指数】 ①+②の合計が80%	保護者	① 取り組んでいる	37%	91%	30%	86%		
				② どちらかといえば取り組んでいる	54%		56%			
				③ どちらかといえば取り組んでいない	9%		14%			
④ 取り組んでいない	0%		0%							

項目	重点目標	具体的取組	指標	評価規準・目標指数	対象	質問内容	アンケート結果			
							前期		後期	
IV ふるさとを愛する子	(1) ふるさとのよさを知り、ふるさとを愛する児童を育てる	「ふるさとが好き」「口名田のよさ・自慢が説明できる」といえる児童90%以上、「地域のこと」が好	取組	【評価規準】 日ごろの取組により、ふるさとに親しみ、よさを伝えようとする児童を育てている 【目標指数】 ①+②の合計が100%	教員	● 「ふるさとや地域が好き」といえる児童を育成するために、ふるさと学習に取り組みましたか。	前期		後期	
			① 十分取り組んだ	55%		100%	60%	100%		
			② だいたい取り組んだ	45%			40%			
			③ あまり取り組めなかった	0%			0%			
		④ 取り組めなかった	0%		0%					
		成果	評価規準 地域やふるさとが好きだと思っている。 【目標指数】 ①+②の合計が90%	児童	● ふるさとの学習をすることで、口名田のことが好きになりましたか。	前期		後期		
		① よく分かって、好きになった(もともと好きも含む)	78%		100%	81%	99%			
		② 好きになった	22%			18%				
		③ あまり好きになっていない	0%			0%				
		④ 好きではない	0%		1%					
		成果	評価規準 ふるさとのよさや自慢を見つけ、説明しようとしている。 【目標指数】 ①+②の合計が80%	児童	● ふるさとのよさや自慢できることを見つけて、伝えることができますか。	前期		後期		
		① できる	63%		96%	68%	99%			
② だいたいできる	33%		31%							
③ あまりできない	3%		1%							
④ できない	1%		0%							
満足度	評価規準 わが子はふるさとのよさ・自慢を見つけ認めている。 【目標指数】 ①+②の合計が80%	保護者	● お子さんは、ふるさと(口名田)のよさやすばらしさを感じていると思いますか。	前期		後期				
① たいへん感じていると思う	30%		94%	29%	92%					
② 感じていると思う	64%			63%						
③ あまり感じていないと思う	5%			6%						
④ 感じていないと思う	1%		1%							
「地域に対して、自分から考えた活動を指す。」	取組	評価規準 地域のために、貢献したり地域に役立つための活動を計画し実践している。 【目標指数】 ①+②の合計が100%	教員	● ふるさと学習において児童の意欲や考えが生かせるように活動を計画し、取り組みましたか。	前期		後期			
	① 計画どおり取り組み、当初の目標を100%達成できた	10%		90%	40%	100%				
	② 概ね計画どおり取り組み、当初の目標を80%達成できた	80%			60%					
③ あまり計画的に取り組めなかった	10%		0%							
④ 計画的に取り組めなかった	0%		0%							
成果	評価規準 地域のことを考えた活動に取り組もうとしている。 【目標指数】 ①+②の合計が80%	児童	● あなたは、ふるさとのために、何かできることに取り組んでみようと思いますか。	前期		後期				
① ぜひ取り組もうと思う	74%		100%	70%	100%					
② できれば取り組もうと思う	26%			30%						
③ あまり取り組みたくない	0%			0%						
④ 取り組みたくない	0%		0%							
満足度	評価規準 わが子は地域の活動に積極的に参加している。 【目標指数】 ①+②の合計が80%	保護者	● お子さんは、地域の活動に積極的に参加していますか。	前期		後期				
① 進んで参加している	52%		95%	41%	92%					
② ある程度参加している	43%			52%						
③ あまり参加していない	5%			8%						
④ 参加していない	0%		0%							